

対象課題：介護分野における従事者の人手不足、遠隔地への移動時間の削減。
実証目的：IoTを活用、介護事業者の業務効率を向上し労力削減に繋げる。

京セラ 研究開発本部 あんしんコミュニケーター



KCME 自治体PF部 しらせあいアプリ

採用理由) 遠隔地の体調管理、見守りが可能なバイタル測定システム

採用理由) 遠隔対面コミュニケーションが可能なタブレットテレビ会議システム



豊富なバイタル測定項目、医療機関での実証実績



HWをタブレットに変更、アプリのみ移植



LENOVO YOGA Tab

「北海道IoT普及推進事業」実証実験の概要：参加7事業所事業所、

地域包括支援センター

訪問看護ステーション

特別養護老人ホーム

過疎地においては、病院や訪問看護などのサービスが無くなり、人の介助を必要とする高齢者が住み続ける事が困難になっている。
医療・介護従事者が遠隔地にいる利用者(高齢者等)の体調管理を可能にするシステムの有効性を実証する。

利用者宅



あんしんコミュニケーター

BT接続



利用者用端末

インターネット



管理者用端末

管理者施設

